

## 「播磨町自転車ネットワーク計画」に係るパブリックコメント（意見募集）結果

番号	ご意見内容	ご意見に対する町の回答
1	<p>1. 物価高対策として町が運営する JR 土山駅の駐輪施設を無料で開放してほしいです。また歩道にラインを引いて駐輪枠を増やしてほしいです。</p> <p>2. 放置自転車対策としては、無料駐輪施設を利用するには、現状ある防犯登録のように、所有者を特定できるシールを販売し自転車に貼り付けた者に限定すればいいと思います。シールを貼っていない自転車は有料駐輪施設に駐輪するように、現状従事してもらっているシルバー人材の方にはシール登録のアナウンスや所定の施設に駐輪することをアナウンスしていただけたらいいと思います。</p>	<p>このたびは、JR 土山駅周辺の駐輪環境について貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>ご提案の「町営駐輪施設の無料開放」につきましては、利用者負担の軽減という観点から大変意義のあるご意見であると受け止めております。しかしながら、駐輪施設の維持管理には一定の費用が必要であり、現状では無料化により運営費の確保が困難になることから、無料化の実施は困難な状況です。</p> <p>また、歩道への駐輪枠の拡大につきましては、歩行者の安全確保を最優先に考える必要があり、警察との慎重な協議が求められます。現時点では新たな駐輪スペースの設置が難しい状況ですが、今後も安全で快適な駅周辺環境の整備に努めてまいります。</p> <p>所有者識別シールによる無料利用制度のご提案につきましては、放置自転車対策として有効な側面もあると考えておりますが、新たな制度の導入には、運用方法の検討や費用負担、利用者への周知など、解決すべき多くの課題がございます。そのため、現時点では本制度の導入は困難であると判断いたしました。</p> <p>いただいたご意見は、今後の駐輪環境の改善に向けたアイデアとして参考にさせていただきます。引き続き、利用者の皆様が安全かつ快適に駐輪場をご利用いただけるよう、環境整備に努めてまいります。</p>

番号	ご意見内容	ご意見に対する町の回答
2	<p>自転車ネットワーク路線図(34頁)と過去5年間の自転車関連事故発生箇所(18頁、28頁)を自分自身の通行経験から眺めると、1)この事故が多い路線が自転車ネットワーク路線と重なり、2)多くの自転車関連事故は、自動車や自転車の通行量の多い幹線道路と住宅地を通る生活道路との交差点で発生していると見て取れます。このことは、「本町における自転車関連事故は、5年間で143件発生しており、自転車対自動車の事故が85%と大半を占めている(19頁)」とのことからも裏付けられる。この事故原因の記述は無いが、筆者が普段の生活上で見聞きしていることから、事故は交差点における自動車か自転車あるいは双方の一時停止の無視に起因していると想像するに難くないです。</p> <p>ネットワーク路線を走行する自転車の安全性を保证するために、【課題】とされる「自転車事故の予防措置による抑制(23頁)」に対する【方向性】に示されている「③自転車・歩行者・自動車の共存による安全意識の醸成(23頁)」というソフト的な対策に加え、自動車と自転車の双方に一時停止を促す物理的な対策を考慮する必要があるのではと思います。</p> <p>余談ですが、最近、交差点の一時停止線の手前で停まらない自動車、更にこのために大きな車両が左折出来ない場面もよく見かけます。一方、自転車については、山陽新幹線高架下の側道の「姫路明石サイクリングロード」を走行する自転車の多くが一時停止を守っていません。</p>	<p>このたびは、計画書の詳細な分析と日頃のご通行経験に基づく、貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、本町における自転車関連事故の多くが幹線道路と生活道路の交差点で発生しており一時停止の不履行が事故要因の一つとして考えられます。現在、信号のない交差点における生活道路側には、道路交通法に基づき一時停止の路面標示と規制標識を設置しております。</p> <p>今後は、計画書に掲げたソフト対策（周知・啓発）を推進するとともに、ご提案いただいた「物理的な対策」についても、以下の視点から検討を進めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 視覚的な注意喚起の強化 一時停止線や「止まれ」表示の強調表示（カラー舗装・高輝度塗料等）</li> <li>• 視認性の向上 夜間の視認性向上を目的とした点滅器・注意喚起灯の設置</li> </ul> <p>これらの対策については、公安委員会と協議のうえ、事故多発地点を中心に、実効性の高い手法を検討してまいりたいと考えております。また、既存の路面標示が薄くなっている、標識が劣化して見えにくいなど、お気づきの箇所がございましたら、ぜひ情報をお寄せください。現地確認のうえ、必要に応じて補修・更新を行ってまいります。いただいた専門的な視点に基づくご提言を、今後の安全な自転車ネットワーク構築にしっかりと活かしてまいります。</p>